



# だっこ通信 第23号

2022. 6月発行



だ い じ ょ う ぶ ・ つ な が る ・ こ そ だ て



## あるある話「ママ友と上手に付き合うには？」

食事や公園などに一緒に出かけたり、子育ての悩みや不安を話したり……。いわゆる「ママ友」は、同じような立場だからこそ共感できることがあり、子育てに役立つ情報が得られたり、子どもの交友関係が広がったりして心強い存在です。ただ親しくなる一方で、距離感の取り方が難しかったり、ちょっと負担に感じるなあと思ったりすることもあるのではないのでしょうか。そんな時はどうしたら良いのでしょうか。

今度、それぞれの家で子連れランチしない？

いいわね。楽しそう。

私はちょっと……。



集まってランチなんて楽しみ。いろんな話ができそう。



それぞれの家でランチ？それは負担だなあ。公園とかでちょこっと会うならいいけど……。

心地良いと感じる距離感是人それぞれです。自分がいいなあと感じることが、相手や周りの人にとっても必ず良いとは限りません。人付き合いにおいて大切なのは「親しい間柄でも考え方や感じ方は人それぞれ違う」ということを認め、その時々で「近すぎず遠すぎず、適度な距離を保つこと」ではないかと思います。「子どものためだから」「仲間はすれにされたらイヤだから」と思いながら付き合うのは辛いですね。

## ★本日のお題

## 人付き合いには ほど良い距離感が大切

気が合うと思っても、距離が近づき過ぎると負担に感じる場合があります。人付き合いにおいては「相手とのほど良い距離を保つこと」が欠かせません。興味本位で根掘り葉掘り聞いたり、一方的に自分の考えを押し付けたりしないよう気を付けたいものです。関わりを持つ中で相手との距離が縮まることもあれば、広がることもあります。それはごく自然なことで、状況や事柄によっても変わります。ほど良い距離を保つことは、相手を思う気持ちにもつながります。



発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)